

和歌山大学
教育学部紀要
—人文科学—

第55集 2005年2月

目 次

社会文化誌試論—(上)—	
—民衆の表現活動と了解の方法—	米田頼司 1
真実は『認知』されたか	
—ポスト軍政期ウルグアイ社会と『平和のための委員会』	内田みどり 19
ベルリンの玉井喜作	泉 健 27
近世養生論への道行き	片渕 美穂子 51
水の生活文化	梅原清子 57
ディラン・トマス「異常なこほんちゃん」 (『若き日の芸術犬の肖像』から)	坂本正雄 67
ヴァジニア・ウルフ「ひとつのまとめ」 (『幽靈屋敷』から)	坂本正雄 73
クロード・ロランからナショナル・トラストへ —湖水地方のガイドブックにみられる自然観の変遷	今村 隆男 75
サウロからパウロへ	
—トーマス・マンとマクシミリアン・ハルデン—	千田まや 81
ニューサウスの神話：ウォーカー・パーシーの <i>Love in the Ruins</i>	土井 仁 89
カフカの『審判』についての予備研究 —原稿の成立と編集—	永井邦彦 97
交わる文化：ローレンスヤップの世界	レオナルド・ランドマーク 103
「短歌」以前／「短歌」以後	天野雅郎 128
コミュニケーションとしての文学 —文学作品を「読む」とはどのような行為か—	佐藤和正 136